

## アスクル 初の統合報告書「ASKUL Report 2022」を発行

～すべてのステークホルダーに向け、中長期的な価値創造について発信～

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:吉岡晃、以下「アスクル」)は本日11月14日、初の統合報告書「ASKUL Report 2022」を発行しました。

本報告書は、“仕事場とくらしと地球の明日(あす)に「うれしい」を届け続ける。”をパーパス(存在意義)に掲げるアスクルの中長期的な価値創造について、財務・非財務の両面から、株主・投資家をはじめとしたすべてのステークホルダーに向けて伝えることを目的としています。

アスクルは、統合報告書をすべてのステークホルダーとの対話促進のツールとして積極的に活用するとともに、中長期的な価値創造に向けて、今後も取り組みおよび内容の一層の充実に努めてまいります。



「ASKUL Report 2022」表紙

### ■「ASKUL Report 2022」

掲載 URL [https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/library/integrated\\_report/](https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/library/integrated_report/)

※一括ダウンロード URL [https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/library/integrated\\_report/pdf/ir\\_2022j.pdf](https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/library/integrated_report/pdf/ir_2022j.pdf)

※インタラクティブ機能付PDFを2022年11月末頃掲載予定です。

※英語版は2023年1月下旬頃発行予定です。

### 【主な内容】

#### ■表紙デザインについて

「仕事場とくらしと地球の明日(あす)に『うれしい』を届け続ける。」という私たちアスクルのパーパス(存在意義)を表現しています。

#### ■ASKUL WAY、CEO メッセージ

2020年12月に刷新した「ASKUL WAY」～パーパス(存在意義)、バリューズ(価値観)、DNA～をご説明するとともに、統合報告書発行に向けたCEOメッセージをお伝えしています。

#### ■SECTION1 価値創造ストーリー

創業から30年、「オフィス通販」のデファクトスタンダード構築、BtoB事業からBtoC事業への挑戦を経て次なる「オフィス通販からのトランスフォーメーション」を掲げる、アスクルの力強い「挑戦と進化の歴史」をご紹介します。また、アスクル独自のビジネスモデルとその強み、経営資本と価値創造プロセスをご説明しています。

## ■特集「うれしいを届け続ける」

1. 対談「SXを通じてアスクルが目指す“エシカル e コマース”とは」  
NPO 法人 NELIS 代表理事、アスクルのサステナビリティ・アドバイザーであるピーター D. ピーダーセン氏とアスクル CEO 吉岡晃との対談を通じ、アスクルが目指すエシカル e コマースをご説明しています。
2. バリューチェーンを DX で最適化する～ロジスティクステクノロジー～  
アスクルの強みであるロジスティクステクノロジーの進化をご紹介します。
3. お客様価値を最大化するための共創プラットフォーム～EC マーケティングラボ～  
2014 年に生まれた LOHACO EC マーケティングラボの取り組みをご紹介します。

## ■SECTION2 中期の成長シナリオ

アスクルのマテリアリティ(重要課題)と目指す「サステナビリティ経営」、2025 年 5 月期までの中期経営計画とその最重要戦略についてご説明しています。

## ■SECTION3 経営基盤

ESG・サステナビリティに関する取り組みをご説明しています。アスクルの独立役員 6 名によるメッセージも掲載しています。

## ■SECTION4 基本情報

財務・非財務ハイライト、11 カ年データ、用語集、マテリアリティ(重要課題)・KPI 一覧、グループネットワークなどを掲載しています。

※本リリースに掲載の情報は発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。